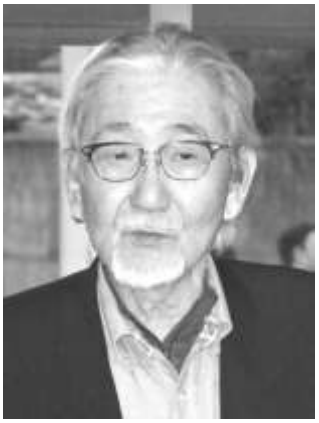
平成２９年度事業総括



理事長 川 島 紀 之

平成２９年度は、行政・企業・ＮＰＯ・地域との協働を着実に進め、交流を図ることができました。また、様々な団体との連携も進みつつあります。

今年度は、「人材バンク構築・運営事業」をプロポーザルで犬山市から８月に受託し、事業として取り組んでいます。３ヶ年計画です。

高齢者向けの事業として平成２８年１２月から始めた「しみんてい　うた声サロン」は、理事の尾藤さんの協力のもと快調に行われています。

２９年度も充実した年でした。会員、理事の皆さんのご支援ご協力に心から感謝申し上げます。今後とも着実に中間支援機能を高めてゆきましょう・・・。

１　人材バンク構築・運営事業

人材（団体・個人）のうち社会に貢献している人たちを登録して、その人材をマッチングしたり、活用させていただく場を作りだして、犬山をさらに活性化させ元気にしていこうとする事業で、今年度犬山市からプロポーザルで獲得したものです。

２　**「市民活動交流フォーラム」**は、「わがまち犬山のために～それぞれの想いを社会につなげよう！～」のテーマのもと、３月１０日（土）フロイデで８０名の参加を得て行いました。ボランタリーネイバーズ理事長の大西さんに基調講演をお願いし、パネルディスカッションでは行政、企業、大学、ＮＰＯ、コミュニティ組織の人達で行い、グループ懇談でパネラーの人達と意見交換を行いました。

３　**「犬山子ども大学」**は、２０講座４２５人の子ども達が参加して、年間延べ２０６日の活動を行い、６０人のボランティア指導員が活躍してくれました。感謝・・・。

４　**「東日本大震災支援」の一つとして、**「“森と遊ぼう” 東北っ子と犬山っ子の自然交流」が、１０月１４日（土）～１５日（日）栗栖の野外活動センターで行われました。

〔Ⅰ〕研修事業

いぬやま未来塾

～ファシリテーションのノウハウとドウハウ　参加型で拓く未来！～

市民参加のまちづくりに取り組もうとする人々が、相互理解・合意形成・問題解決に役立つ「ファシリテーション」についての理解を深め、ファシリテーターに必要なスキルを学び、ノウハウだけではなくドウハウを持ち帰り現場につなげることを目的としています。

◆　参加型の意義とファシリテーターの役割を理解し、必要な資質とスキルを身につける
◆　自己理解、相互理解、共通理解を進める参加型の方法論を学び、活用できるようになる
◆　社会的合意形成手法を扱うよりよいファシリテーターのポイントを学び現場に持ち帰る

◆講師　　伊沢令子　特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

回	とき・ところ	内容	人数
第１回	１２月３日（日） 13:00-17:00　福祉会館	なぜ『参加型』？ ～参加者主体の場を作る意味と意義～	５名
第２回	１２月９日（土） 13:00-17:00　福祉会館	ファシリテーターの４つの役割 ～場作り、関係づくり、プロセス作り、合意形成～	４名
第３回	１２月１７日（日） 13:00-17:00　福祉会館	変化のための参加型 ～課題解決・ビジョン達成と人々の行動変容～	３名
第４回	１月１３日（土） 10:00-17:00　福祉会館	よりよい参加型のポイントと参加型の可能生	６名

【成果と反省】

今年度は、１０年間お世話になった井上先生に替わり、ＮＩＥＤ の伊沢先生を講師にお招きして実施しました。いろいろと楽しく学べるツールを体験させていただいたり、より実際の活動に近いテーマ設定のワークショップの体験などから参加者が各々気づきを得られるような内容でした。

広告宣伝の期間も短く、参加者が少なくなってしまい人数的には残念な結果でしたので、来年度はしっかり参加者を集めたいと考えています。

〔II〕普及啓発・情報提供事業

「しみんてい」の周知、普及のために、犬山市内及び愛知県下の自治体・NPO 向けにペーパーによる広報活動を行うと共に、ホームページの充実、「しみんてい」内の掲示板、各種チラシの掲示の充実を図ってきました。

さらに、自治体、地域コミュニティ組織及びＮＰＯへ指導者を派遣したり、各会合へ参加するなどして「しみんてい」の普及啓発に努めていきます。

１，ニュースの発行

隔月に発行し、配布先は愛知県下の自治体をはじめ NPO 向けに１,０００部配布しています。

① 発行回数　５回（８７号～９１号）、臨時号：木曾川源流　夏の交流合宿号
② 発行部数　１,０００部（毎回）
③ 配布先　　会員、愛知県下の自治体、主な NPO へ配布。

２，ネットワーク運営事業

①ホームページの充実

②催事カレンダー（犬山市内の行政・NPO の活動カレンダー）の作成

③しみんていニュースで団体の活動紹介を掲載しています。

３，各種ＮＰＯのチラシ掲示及びポスター掲示場所の運営、助成金情報の提供

４，普及啓発活動

① 協働事業によるPR

犬山城祭り、焼酎祭り、ビール祭り、ワインまつり、あったか鍋・地酒祭り、「おひな様まつり」、「愛フェス」、集まれ犬山っ子、犬山市青少年健全育成市民会議「オアシス運動」、多文化共生シンポジウム、犬山市ボランティア連絡協議会主催の「ボランティアのつどい」など１１件

② 市並びに各種団体への講師及び委員派遣

各種委員会への委員派遣・・・各種委員会への委員派遣・・・コミュニティ政策学会、大口町ＮＰＯ促進委員会、市民フォーラム２１ＮＰＯセンター、ボランタリーネイバーズ、犬山市男女共同参画推進協議会、犬山市男女共同参画市民会議、犬山市青少年問題協議会、犬山社会教育審議会、犬山里山学センター運営協議会、市民展企画委員会、犬山城下町まちづくり協会、古代邇波の里・文化遺産ネットワーク、犬山まつり実行委員会、犬山市産業振興祭など１４件

③ 各種会合への参加

犬山市交礼会、犬山まつり実行委員会、城下町まちづくり協会、あんきにくらそう会総会、市民フォーラム２１総会、楽田地区コミュニティ推進協会総会、城東小学校区コミュニティ推進協議会総会、楽田小、愛フェス実行委員会、城下町おひなさま祭り実行委員会など１６件

〔Ⅲ〕　相談・助言事業

1，概　要

「しみんてい」の運営及び「犬山しみんていの会」の事業実施に伴うコーディネイト。各種団体・グループさらには個人への相談・アドバイスを丁寧に実施しています。

2，具体的な活動

（ア）コーディネイト

人材育成事業、人材交流・ネットワーク促進事業を通じ、また各種相談の中から、コーディネイトが必要なものについては積極的に対応しています。

「子ども大学」「木曾川源流夏・冬の交流合宿」「“森と遊ぼう”東北っ子と犬山っ子自然交流事業」も大きなものです。

（イ）相談に関する業務

① 市民活動相談

★ ＮＰＯ法人に関すること：３件

★ 活動に関すること：１５件

★ 市町職員への相談・アドバイス：４件

② ボランティアにかかわる相談・・・１０件

③ 施設利用に関する相談・・・・・・２３９件

④ 各市町村職員、市民活動団体の視察及受け入れ

犬山市東部中学校、扶桑北中学校の２件

（ウ）犬山市民活動支援に関する条例に関わる相談・アドバイス

① 助成金に関するもの・・・８件

② 登録に関するもの・・・・５件

③ 施設に関するもの・・・・４件

〔IV〕人材交流・ネットワーク事業

1，人材バンク構築・運営事業

① 収集した人材情報の件数

人材情報合計（団体・個人）		267件
ウェブサイトでの公開可能な人材情報	団体	50件
	個人	25件
	合計	75件
非公開人材情報	団体・個人	192件
活用実績		5件
支援検討中の中間支援案件、及び相談案件		4件以上

② テーマ別サロン

「子育て応援交流会」

1. 開催日時：平成30年2月17日・土曜日　14時00分より16時30分
2. 会場：犬山しみんてい　和室
3. 参加者　9グループ　11名が参加。
   NPO法人わいわい情報広場ももっぴ通信部、ラブリーミュージック、
   NPO法人ハッピー人財サポーター、しみんてい託児グループ「てんとうむし」、
   まちかどボランティアセンター犬山、もえきっず、NPO法人シェイクハンズ、
   犬山市役所子ども未来課(小島子育て監)、犬山市役所企画課(井出補佐)
4. 内容
   ・自己紹介（主な活動、大切にしていること、課題等）
   ・他グループへの質問や課題解決にむけてのアイディア、アドバイス
   ・気軽なセッション
5. 成果と課題(アンケート)より【提出８名】
   1）参加の感想：　大満足３名、満足５名
   ・多方面から集まり、新しい情報が聴けた　・新しい出会いがあった
   ・市民や子育てのことを考える場があるのを実感・他団体の内情などが聴けた
   ・子育てに関わり人との話がとても有意義だった・楽しい雰囲気で、刺激を受けた
   2）継続に向けてのイメージや、やりたいテーマは？
   ・賛助会員が増えるような仕組みや催事を考えたい・課題解決に向けて・協働企画
   ・役に立つ情報が聴ける会に　・他団体の活動の様子がわかる企画
   3）しみんていの会に、期待すること
   ・知名度のあがるようなイベント開催
   ・フェイスブックなどで、もっと気軽に情報発信をしてほしい
6. 総評
   ファシリテータの個人的な見解だが、今回の団体は、みんな資金的なお悩みは、あるが、自分達のできる範囲での展開を考えている感じがした。
   無理せずに、楽しみながら活動を続ける事を望んでいるので、しばらく会を重ねて、更なる新しい参加団体との交流や、アンケートをとりながら、しみんていのできる事の方向性を絞っていけると良いのでは？
   一方、行政からの参加は、目的がいまひとつ、わからなかった。
   ただ、思いがけす、楽しい雰囲気のなかで、継続に向けての手ごたえがあり、予算面を確保し、さらに工夫して臨みたい。

人材交流ネットワーク

「自然環境交流ひろば」

1. テーマ：身の回りの環境について意見を交換しよう
2. 開催日時：平成 30 年 3 月 25 日（日）午後 1 時 30 分～3 時
3. 会場：犬山国際観光センター3 階会議室 1
4. 参加者　9 団体 19 名

   郷瀬川清流会、半ノ木川の環境を守る会、ふるさとの自然を愛するスズサイコの会、有機米つくろう会、リリオの会、Genki 森もり、犬山農芸、鬼神太鼓、城東小学校区コミュニティ推進協議会
5. 内容

   ・自己紹介

   ・「犬山の良いところ」と「犬山の改善すべきところ・提案」について意見交換

   犬山のいいところについては、「自然に恵まれている」、「多様な自然がある」、「自然環境に関わる団体が多い」などの意見が出た。

   犬山の改善すべきところ・提案については、「私有林が管理されていない」、「環境のネットワークがない」、「現場の声が行政に届いていない」、「個別のテーマに絞り込んで、提言を行う」などの意見が出た。
6. アンケート結果

   全体の感想については、「他団体の活動の実態がわかってよかった」、「横のつながりが出来た」など、参加者同士が交流できたことへの前向きな評価が多かった。一方で、「テーマが自然環境という括りだと広すぎて活動報告で終わってしまうため、もっと絞ったほうがいい」という意見もあった。

   また、今後の開催について、継続を期待する意見が多かった。

③ 開設したホームページ

開設したホームページ	
一般公開サイト	URL：http://人材バンク犬山.com/
非公開人材情報管理ツール	URL：https://www.zoho.com/jp/crm/lp/login.html

ホームページの発信内容１	
一般公開サイト	URL：http://人材バンク犬山.com/
発信内容	・新着情報　・人材検索機能（カテゴリ別、タグ別） ・人材バンクへの登録フォーム ・人材バンク活用事例紹介ページへのリンク ・人材バンク説明ページ　・サイト運用説明ページ

ホームページの発信内容２	
非公開人材情報管理ツール	URL：https://www.zoho.com/jp/crm/lp/login.html
発信内容	・非公開人材情報　・地域の課題・要望一覧 ・相談案件一覧、対応状況 ・中間支援案件一覧、対応状況、進捗状況

④ 人材バンク キックオフ フォーラム

- テーマ：わがまち犬山のために～それぞれの想いを社会につなげよう！～
- 開催日時：平成３０年３月１０日（土）午後１時３０分～５時２０分
- 会場：犬山国際観光センター（フロイデ）２階多目的研修室１・２
- 内　容

☆　セレモニー　　主催者あいさつ、　来賓挨拶

☆　基調講演　　特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ理事長　大西光夫　氏

☆　パネルディスカッション　　司会：大西光夫氏

行政　犬山市地域安全課　田原尚舞　氏

企業　住友理工（株）CSR 部長　戸成司朗　氏

学校　名古屋経済大学地域連携センター　佐藤正之　氏

コミュニティ　城東小学校区コミュニティ推進協議会長　服部章二　氏

NPO　特定非営利活動法人起業支援ネット代表理事　久野美奈子　氏

☆　犬山市長あいさつ

☆　グループ懇談

最初は、行政、企業、学校に参加者が分かれ意見交換し（２５分）

次に、コミュニティ、NPO に分かれて意見交換した。

☆　終わりのあいさつ　　犬山しみんていの会理事長

大西さんより簡単なまとめをお話しいただく。

花博記念協会助成事業

2，「森と遊ぼう」東北っ子と犬山っ子の自然交流事業

秋の『 ″森と遊ぼう″ 東北っ子と犬山っ子の自然交流』を目指して実行委員会で事業の内容を決め実施しました。

◆**実行委員会**　６回（６月～11 月）開催し、内容の基本方針、活動の材料等準備を進めて実施しました。

◆**内容**

＊と　き　　１０月１４日（土）午前１０時～１０月１５日（日）午後２時
＊ところ　　犬山市野外活動センター一帯
＊参加者　　避難者親子：４家族１２人、犬山の子供：４８人（保護者等４人）、ボランティア４０人

＊活動内容

＜一日目＞１０月１４日

第１部体験コーナー　午前１０時２０分～午後３時 30 分
☆巨大魚を捕まえるのは だれだ！？ ☆宇宙から地球を感じよう（ﾓﾊﾞｲﾙ ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ）
☆土と遊ぼう！ ☆サバイバルロープワーク＆木のぼり ☆青空ダイニングと防災カフェ
★昼食・休憩
第２部　シェルターづくりや夕食づくり　午後４時～６時３０分
夕食　午後７時～　　火を囲んで…　午後８時～

＜二日目＞１０月１５日

第３部　熱気球体験　午前７時～８時３０分

第４部　防災教室　　午前９時３０分～１１時
「トランシーバー交信体験」「紙の笛づくり」
「消火器で的あて」「ハッピー交流ゲーム」
★昼食　　★テントのかたづけ　　★解散　午後１時

＊連携団体

ＮＰＯ法人シェイクハンズ、グリーンマップ犬山、有機米つくろう会、ＮＰＯ法人トンボと水辺環境研究所、ひとつばたごの会、おかげさま、郷瀬川清流会、犬山市レクリエーション指導者クラブ、ワークショップこころ、地球子ども村、桃山工房、

３，木曽川源流・夏の交流合宿

～風のおっぱら、水の馬瀬…山村で 心が躍る、感動体験をしよう！～

と　き：８月２４日(木)～２６日(土)
ところ：おっぱら、馬瀬

参加者：子ども１８名、
スタッフ：１１名　　計２９名

８月２４日（木）１日目

☆班旗づくり
☆野菜収穫・砂金･水晶採り
☆ランタン作り・ナイトハイク

〇おっぱら自然体験センター宿泊

８月２５日（金）２日目

☆馬瀬組＝沢登り、温泉
☆おっぱら＝魚つかみ・調理・
　　ミニ気球の体験

〇バーベキュー交流会（夜）
〇おっぱら自然体験センター宿泊

８月２６日（土）３日目

☆森林散策・クラフト作り

初日はみんなおっぱらです。
班旗づくりで、ほぼお互いを知ることができる。川で砂金・水晶採り。砂金が採れたのは４人ぐらいでした。水晶は結構取れます。その後ランタンを作りナイトハイク。

二日目に馬瀬班とおっぱら班に分かれます。馬瀬では、冷たい沢を滝壺までのぼり、そこがまた楽しみの場でもあります。
午後は、雨天のため温泉「美輝の里」へ。
最後の日は、おっぱら地区の探検をしながら森へ行って、葉っぱや木の実をいっぱい集めてきて、木の板に飾り付けをした。とても個性的で工夫を凝らした作品に仕上がっていた。
今回から二泊ともおっぱらで泊りです。少しゆとりができ、また、荷物を移動しなくてもよいのがありがたかったです。

4，犬山子ども大学自主事業

この事業は、子ども達を一回り大きく成長させ、子ども達の自主性を育てて、主体的に活動に取り組むきっかけを作ってくれます。（理事長　川島紀之）

あいちモリコロ基金助成事業

（1）生き物探検隊クライマックス　１７人参加

今年も山に川に海にいろんな所に突撃しましたね！今年は豪雨や気温の状況で、特に昆虫が影響をうけ、数が少なかったり、発生時期がずれたりして大変でした。そんな中でも参加者のみんなはそれぞれ魅力的な物をみつけ楽しんでいました。みんな目を輝かせ本当に生き生きしていましたね。でも楽しいだけじゃなく、人間は生き物達に支えられているのだということ。多種多様な自然、生き物がいるこの犬山を守っていくのは僕達地域の人間の使命です。この教室に参加した子たちは知らない間に生き物を守ることを学んでいます。どの生き物がどんな所にいて、何を食べ、どういう風に繁殖し、死んで…いろんなことを体験を通して知ったからです。知っていれば守ることができる。簡単なことなのです。そう私たちが捕まえてきたのは「僕らの地球の未来」なのです！！（宮田指導者の言葉）

（2）犬山原始人クラブ　２０人参加

今年初めての活動として、金山町の笹洞鉱山跡へ蛍石採集に行った。まるで宝探しをするかのように熱中して取り組み、一番人気の活動となった。活動時間のうち、物づくりの時間がほとんどだが、とても集中して取り組んだ。色々な道具を使い、子ども達はとても匠になった。猛暑の夏は「高林工房・森の学校」で活動した。板取川では大岩から飛び込む子ども達の姿に逞しさを感じた。中山道「馬籠宿」～「妻籠宿」約９㎞を自作のわらじを履き、竹の水筒を持って歩いた。誰も弱音を吐かず驚くほど元気に歩いた。わらじ作りは小学生では大変難しいので、完成した時の達成感を味わい、苦労した分楽しい活動であったようだ。今年も大学生が子ども達と共に活動した。子ども達に大人気だった。また、他校の子とも仲良くなり、人との関わり合いを持ちながら活動することができた。（高林指導者の言葉）

（3）冒険教室　～上級コース～　１８人参加

上級コースは毎度、目標設定が明確にされています。今年は「源流探検」で初めて、目標をクリアすることができませんでした。それには訳があって、大人が手助けを一切しなかったためです。子どもの力だけでどこまでできるのか、試してみました。さすがにスムーズには進みませんでしたがその分、自分たちで協力して仮題を一つずつクリアしていく姿がとても印象的でした。それこそが、上級コース本来の姿なのかもしれません。成功体験を多く積ませてあげたいと考えがちですが、失敗をどう乗り越えていくかを体験させることも、時には必要であると改めて思い直した年となりました。（古澤指導者の言葉）

5，犬山「子ども大学」

犬山子ども大学は、犬山市教育委員会が平成１４年度から学校週休２日制への対応策として始めました。当会は、平成１５年９月にＮＰＯ法人を取得した機会に、犬山市教育委員会へ提案を行い、それを受け入れてもらい平成１６年度から委託を受け実施することになりました。

平成２９年度は、２０講座４２５名です。（平成 28 年度 20 講座 453 名、27 年度 20 講座 415 名、26 年度 20 講座 420 名、25 年度 20 講座 421 名、24 年度 22 講座 431 名、23 年度 21 講座 453 名、22 年度は 22 講座 473 名、21 年度 21 講座 408 名、20 年度 22 講座 436 名、19 年度 17 講座 362 名、18 年度 18 講座 363 名、17 年度 15 講座 287 名、16 年度 13 講座 196 名）

２９年度の特色は、「生き物探検隊クライマックス」（活動時間一日 4 回）、「犬山原始人クラブ」一日活動 10 回）、「冒険教室～上級編～」（一日活動４回、一泊二日３回）です。３教室で５５名と多くなっています。指導者は、子ども達が 1 年間のあいだに一回り大きく見えるようになったと言っています。**多くの子どもたちがこの事業に挑戦してほしいと思います。**

当会では、子ども大学の講座を行う上で、次のことを大切にしています。

1　子ども達が、学校・家庭でできない体験をすることによって、感動と達成感を味わって欲しいこと⇒感動と達成感の場の提供

2　保護者及び多くの方に、体験活動＝“遊び“が、子どもの成長にとって”かけがえのない宝物“であることの普及をはかること⇒体験活動の大切さの普及

3　少子化社会の中で、各地域で子どもの健全育成を進めていく土壌づくりに寄与していくことができたら嬉しいと考えています⇒地域での青少年健全育成の場の拡充

※　具体的な活動内容は、別冊参照。

平成２９年度　犬山「子ども大学」　講座一覧

＜犬山市委託事業＞

①	国際理解“世界を知ろう！世界を学ぼう！世界をめぐろう！”	12 人
②	日本文化にふれよう！“お茶・お花”	23 人
③	生き物探検隊　パートⅠ	28 人
④	生き物探検隊　パートⅡ	19 人
⑤	サイエンス　電子工作	20 人
⑥	君も　エジソンになれる！	30 人
⑦	はじめての　楽しい陶芸	23 人
⑧	囲碁・将棋たいけん教室	27 人
⑨	鳴り物を演奏して囃し立てよう！	2 人
⑩	楽しく絵をかこう	28 人
⑪	やさしい　絵画教室	23 人
⑫	和太鼓を　たのしく　たたこう	14 人
⑬	押し花で　ものづくり	23 人
⑭	楽しもう！！レクスポーツ	34 人
⑮	冒険教室　基礎コース	18 人
⑯	子どもの自然教室　午前の部	23 人
⑰	子どもの自然教室　午後の部	23 人

＜あいちモリコロ基金助成事業＞

①	生き物探検隊　クライマックス	17 人
②	犬山原始人クラブ	20 人
③	冒険教室　上級コース	18 人

計 425 人

６，託児事業（事業で託児をしてほしい方どうぞ！！）

託児をしてほしいグループ・団体、行政の方
どうぞ利用してください！！

託児をする人が極めて少ない状況の中、思い切って「しみんてい」では小さな子どもさんを預かる「託児事業」を始めております。
子どもを預けることによって勉強したり、主催者の事業に参加出来たりと、あなたの成長のため、あなたの社会参加に協力できたらと考えました。
どうぞ！！託児を利用してください！！

平成２９年度の活動実績
１　定 例 会　１１回
２　託児活動　１５回
３　預かった子ども　４５人

２８年度託児：１５回３６人、２７年度１９回３９人、２６年度１４回３０名、２５年度２０回４２名です。

7，まちの駅運営事業

発足当時から［**まちの駅**］の運営を行っています。第１・第３日曜日には、コーヒーをお出ししています。時々、ボランティアの方々が抹茶の提供もしてくれています。

8，しみんてい広房

Ⅰ　城下町での協働事業

（1）春の犬山お城まつり

４月１日（土）～２日（日）　２,５００人

今年も多くの会員関係者に出店していただき盛況を極めました。
ボランティアで参加していただいた関係者には厚く感謝いたします。

（2）犬山城下町日南焼酎まつり

6月3日（土）～4日（日）　入場者　８００人

（3）犬山城下町ビールまつり

9月9日（土）～１０日（日）　入場者　９００人

（4）犬山城下町ワインまつり

１２月２日（土）～３日（日）　入場者　1,５００人

（5）犬山城下町あったか鍋と地酒まつり

３月１０日（土）～１１日（日）入場者　1,５００人

（6）犬山城下町おひなさまめぐり

２月１０日（金）～３月１０日（金）
犬山北のまちづくり推進協議会が提唱し、城下町をお雛様で埋めようと活動を開始したので、それに参画協力しています。

（7）もちつき交流会

日　時：１２月２３日（祝）１０：００～１３：００
場　所：犬山しみんていの会

普段お世話になっている町内の人たちや、しみんていの会・会員に感謝の気持ちを込めて開催しました。

Ⅱ　他の協働事業

愛フェス２０１７

９月１６日（土）～１７日（日）　　入場者　２００人

ファンドレイジングと東北支援をしている催事に参画。クラフト作りでは、子ども向けの「くるくるレインボー」で好評を得ました。

Ⅲ　広　房

しみんてい　うた声サロン

毎月第１、第３火曜日の午後２時より行っています。

参加者数：延べ２９６人

４月３３人、５月２５人、６月２８人、７月２０人、８月１１人、９月２９人、１０月２５人、１１月３０人、１２月２８人、３０年１月１６人、２月２５人、３月２６人

【Ⅴ】 調査研究･政策提言事業

1，政策提言

平成２９年１０月２４日、ＮＰＯに関わる提案書を犬山市長と犬山市教育委員会へ提出した。

提言書抜粋

（１）しみんていの炊事場の改修について　⇒　炊事場が使用可能の間は現状のままご使用ください。

（２）コミュニティ活動の一層の充実のために「活動拠点を」　⇒　西、東コミで協議している。

（３）自治体の憲法の制定「自治基本条例の制定」について　⇒　「仮称犬山市協働のまちづくり基本条例」の検討を開始した。３０年度中の制定を目指している。

（４）多文化共生時代への対応について　⇒　３０年度も「多文化共生推進事業」を予算化している。委託金額の増額は、今後の事業内容と併せて検討したいと考えている。

（５）人件費について ⇒ 見直しを行ってゆく。

（６）犬山子ども大学について　⇒　国・県の補助金を活用して継続します。３０年度は子どもへの農育をテーマとした講座を増設したい。

（７）犬山市役所でのＮＰＯ活動に対する理解促進及び啓発事業　⇒　検討していきます。

2，政策ＮＰＯ学会

政策ＮＰＯ学会総会（７月１～２日、豊中市）に参加できませんでした。

〔VI〕　施設運営・整備事業

1，施設利用状況

２０１７年度
市民活動支援センター利用者調べ

年／月	来館者数	団体利用		個人利用者数	
		団体数	利用者数	コピー	印刷
” 17/4	2,588	26	715	6	3
5	1381	23	212	3	14
6	1529	28	304	3	5
7	647	26	312	7	4
8	658	24	302	6	5
9	1207	32	339	4	8
10	432	20	232	7	4
11	1155	32	398	7	8
12	1344	34	413	5	7
” 18/1	472	27	281	8	1
2	521	29	269	3	9
3	1603	27	254	7	8
合計	13,537	328	4,031	66	76

総利用者数	17,710 人
総利用団体	328 団体

2，前年度までの利用者･団体数の推移

年　　度	総利用者数	総利用団体
2016	15,097	257
2015	15,796	304
2014	17,804	319
2013	10,888	255
2012	10,661	270
2011	18,406	275
2010	16,849	351
2009	14,396	374

〔Ⅶ〕　会議開催状況

犬山しみんていの会は、定例的に理事会と運営委員会を交互に開催しています。
大きなイベントは、実行委員会を結成して、毎月事業実施まで会合を持っています。

1，定例会議

名称	回	日時	主な議題
理事会	第１回	７月１１日（火）	＊　人材バンクプロポーザル、森と遊ぼう
	第２回	９月１２日（火）	＊　“森と遊ぼう”東北っ子と犬山っ子の自然交流
	第３回	１１月１４日（火）	＊　餅つき大会・忘年会
	第４回	１月　９日（火）	＊　フォーラム、活動成果発表会
	第５回	３月　６日（火）	＊　地酒と温か鍋まつり
	第６回	４月２５日（火）	＊　総会資料について
運営委員会	第１回	６月　６日（火）	＊　レッツ城下町・レッツアフリカン　わくわく子ども探検隊、森遊ぼう実行委員会立ち上げ
	第２回	８月　８日（火）	＊　夏の交流合宿、愛フェス参加等
	第３回	１０月１０日（火）	＊　ワインまつり
	第４回	１２月１２日（火）	＊　餅つき大会・忘年会、フォーラム
	第５回	２月　６日（火）	＊　地酒とあったか鍋まつり
	第６回	４月１０日（火）	＊　総会資料について
実行委員会	第１回	６月　６日（火）	＊　“森と遊ぼう”東日本被災者親子と犬山の子供交流
	第２回	７月１１日（火）	＊　“森と遊ぼう”東日本被災者親子と犬山の子供交流
	第３回	８月　８日（火）	＊　“森と遊ぼう”東日本被災者親子と犬山の子供交流
	第４回	９月１２日（火）	＊　“森と遊ぼう“東日本被災者親子と犬山の子供交流
	第５回	１０月１０日（火）	＊　“森と遊ぼう”東日本被災者親子と犬山の子供交流
	第１回	１１月１４日（火）	＊　市民活動交流フォーラム
	第２回	１２月１２日（火）	＊　市民活動交流フォーラム
	第３回	１月　９日（火）	＊　市民活動交流フォーラム
	第４回	２月　６日（火）	＊　市民活動交流フォーラム
総会	５月１４日（日）午前１０時～　終了後昼食交流会		

※理事会は、理事に限定。
※理事会と運営委員会は毎月１回交互に実施。（第２火曜日）

2，その他の会議

（１）事務局会議、月に１回開催。
（２）出展者打合せ会は随時開催

〔Ⅷ〕 報道関係ニュース

〔IX〕平成29年度決算報告

平成２９年度収支計算書

特定非営利活動法人　犬山市民活動支援センターの会

2018/3/31 現在（単位：円）

Ⅰ．経常収入の部

科　　目	予 算	決 算	差 異	備　　考
1 会　費				
① 正 会 員	225,000	174,000	△ 51,000	1 口 3,000 円×58 口 （個人 35 口、団体 23 口）
② 賛 助 会 員	165,000	151,000	△ 14,000	個人 7、法人 20
③ 情 報 会 員	0	0	0	1 口 3,000 円×0 口
小　　計	390,000	325,000	△ 65,000	
2 委 託 料				
①施設運営事業	2,696,270	2,696,270	0	施設管理、消耗品
②センター事業	3,937,000	3,936,276	△ 724	各種相談・支援
③人材バンク事業	0	4,753,512	4,753,512	フォーラム、サロン
④子ども大学委託事業	6,349,000	6,339,600	△ 9,400	国際理解等 17 講座
小　　計	12,982,270	17,725,658	4,743,388	
3 助 成 金				
①あいちモリコロ基金	500,000	500,000	0	生き物ｸﾗｲﾏｯｸｽ、冒険教室上級、原始人ｸﾗﾌﾞ
②花博記念協会	350,000	323,000	△ 27,000	森と遊ぼう
小　　計	850,000	823,000	△ 27,000	
4 参 加 費(事業収入)				
①広房事業	50,000	198,200	148,200	まちの駅 、うた声サロン 、他
②人材育成事業	10,000	20,300	10,300	犬山未来塾、託児講座
③子ども大学	455,000	499,000	44,000	生き物ｸﾗｲﾏｯｸｽ、冒険教室 上級、原始人クラブ
④ネットワーク事業	1,470,000	634,000	△ 836,000	夏交流合宿 、フォーラム 、森と遊ぼう、交流ひろば
⑤城下町協働事業	50,000	398,760	348,760	ワイン祭 、焼酎祭 、鍋地酒祭 、ビール祭 、他
小　　計	2,035,000	1,750,260	△ 284,740	
5 使 用 料				
①使用料	240,000	362,711	122,711	印刷、コピー 、自販機 、横断幕 、他
小　　計	240,000	362,711	122,711	
6 寄 付 金				
①寄付金	100,000	740,724	640,724	広房事業 、個人 、他
小　　計	100,000	740,724	640,724	
7 その他				
①雑収入	10,000	0	△ 10,000	
②受取利息	0	77	77	
小　　計	10,000	77	△ 9,923	
前年度繰越金	1,000,000		191,843	
経常収入合計	17,607,270	21,727,430	4,120,160	

Ⅱ．経常支出の部

[1]事業費

科　　目	予 算	決 算	差 異	備　　考
1研修事業				
①NPOリーダ育成研修	200,000	236,071	△36,071	
小　　計	200,000	236,071	△36,071	
2 普及啓発・情報提供				
①ニュースの発行	20,000	82,408	△62,408	郵送費 、用紙・インク代
②情報収集・発信	672,000	974,265	△302,265	人件費 、ホームページの更新、消耗品
小　　計	692,000	1,056,673	△364,673	
3 相談・助言事業				
①コーディネート 助言・相談	1,500,800	1,011,482	489,318	人件費 、法定福利費、NPO 相談・助言 市助成金支援、協働コーディネイト等
小　　計	1,500,800	1,011,482	489,318	
4 人材交流ネットワーク				
①市民活動交流フォーラム	312,800	262,058	50,742	人件費 、謝礼 、消耗品 、他
②NPO 行政協働実践事業	841,206	1,348,426	△507,220	センター運営事業
③しみんてい広房事業	230,000	625,391	△395,391	城下町 、うた声サロン 、他
④まちの駅運営事業	30,000	67,025	△37,025	謝礼、消耗品
⑤子ども大学事業	6,349,000	6,339,600	9,400	借料 、光熱費 、保管料 、他
⑥多文化共生推進事業	20,000	0	20,000	人件費 、謝礼 、教材 、他
⑦夏・冬の交流合宿	1,250,000	427,378	822,622	
⑧託児者養成	40,000	36,279	3,721	謝礼 、賃借料 、消耗品 、他
⑨子ども自然冒険教室	1,122,600	1,231,932	△109,332	生き物ｸﾗｲﾏｯｸｽ、冒険教室上級、原始人ｸﾗﾌﾞ
⑩森と遊ぼう	730,000	683,184	46,816	森と遊ぼう
⑪人材バンク事業	0	4,239,419	△4,239,419	
小　　計	10,925,606	15,260,692	△4,335,086	
5 調査研究・政策提言事業				
①研　修	50,000	0	50,000	
②政策提言	3,000	0	3,000	
③研究・情報収集	60,000	122,796	60,000	書籍代、連携団体会費
④まちづくり研究集会	40,000	0	40,000	
小　　計	153,000	122,796	153,000	
事業費合計	13,471,406	17,687,714	△4,216,308	

[2]管理費

科　　目	予 算	決 算	差 異	備　　考
1 管理運営	3,203,000			
①人件費		2,447,120		管理人人件費
②法定福利費		58,963		厚生年金保険、など
③会　議　費		4,260		各種打ち合わせ
④旅費交通費		3,660		交通費
⑤郵　送　費		29,089		各種案内、連絡 郵送代
⑥通　信　費		60,504		中部ケーブル
⑦消耗品費		118,520		印刷用紙、インク
⑧備品・消耗品		33,825		拡大印刷器、他
⑨水道光熱費		72,064		ガス代
⑩賃　借　料		358,404		コピー機・印刷機 使用料
⑪保　険　料		7,880		ボランティア保険
⑫諸　会　費		43,400		商工会議所、まちづくり協会
⑬慶　弔　費		26,200		お見舞
⑭租税　公課		378,250		消費税、収入印紙
⑮支払手数料		14,702		振込み手数料

⑯雑　　費		83,003		
小　　計	3,203,000	3,739,844	△ 536,844	
2 環境整備 ①環境整備	10,000	50,065	△ 40,065	修繕費
小　　計	10,000	50,065	△ 40,065	
管理費合計	3,213,000	3,789,909	△ 576,909	

［3］予備費

科　　目	予 算	決 算	差 異	
予備費	300,000	0	300,000	

Ⅲ. 経常支出合計	予 算	決 算	差 異	
	16,984,406	21,477,623	△ 4,493,217	

Ⅳ. 経常収支差	予 算	決 算	差 異	
	622,864	249,807	373,057	

	決 算	
Ⅴ. 当期正味財産増減	249,807	
Ⅵ. 前期繰越正味財産	1,191,843	
Ⅶ. 正味財産合計(消費税込)	1,441,650	消費税(485,300 円)

特定非営利活動法人　犬山市民活動支援センターの会

平成２９年度　活動計算書

2017/4/1　～　2018/3/31

（単位：円）

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	174,000		
賛助会員受取会費	151,000		
情報会員受取会費	0	325,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金	740,724	740,724	
【受取助成金等】			
受取助成金	823,000	823,000	
【事業収益】			
事業　収益	2,112,971		
受託事業収益	17,725,658	19,838,629	
【その他収益】			
受取　利息	77		
雑　収　益		77	
経　常　収　益　計			21,727,430
【経常費用】			
【事業費】			
（人件費）			
給料　手当	3,441,268		
法定福利費	412,599	3,853,867	
（その他経費）			
諸　謝　金	6,481,371		
委　託　費	1,745,280		
教　材　費	1,583,439		
会　議　費	2,360		
郵　送　費	157,338		
旅費交通費	331,984		
新聞図書費	39,836		
通信運搬費	39,172		
消耗品　費	1,757,910		
賃　借　料	489,982		
保　険　料	14,000		
諸　会　費	11,500		
保　険　料	52,395		
支払手数料	864		
備　品　費	68,040		
雑　　費	740,974		
仕　入　れ	369,797	13,833,847	
事　業　費　計			17,687,714

【管理費】			
（人件費）			
給料　手当	2,447,120		
法定福利費	58,963	2,506,083	
（その他経費）			
旅費交通費	3,660		
郵　送　費	29,089		
通信運搬費	60,504		
消耗品　費	152,345		
会　議　費	4,260		
修　繕　費	50,065		
水道光熱費	72,064		
賃　借　料	358,404		
諸　会　費	43,400		
保　険　料	7,880		
慶　弔　費	26,200		
租税　公課	378,250		
支払手数料	14,702		
雑　　費	83,003	1,283,826	
管　理　費　計			3,789,909
経　常　費　用　計			21,477,623
当期正味財産増減額			249,807
前期繰越正味財産額			1,191,843
次期繰越正味財産額			1,441,650

平成２９年度　貸借対照表

平成３０年３月３１日　　現在

特定非営利活動法人　犬山市民活動支援センターの会

（単位：円）

資　産　の　部		負　債　の　部	
科　　目	金　額	科　　目	金　額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		預　り　金	89,108
現　　金	323,489		
普通　預金	503,859		
定期　預金	701,450	流動負債　計	89,108
現金・預金 計	1,528,798		
（売上債権）			
未　収　金	0	負 債 合 計	89,108
売上債権 計	0	正　味　財　産　の　部	
		【正味財産】	
（その他流動資産）		前期繰越正味財産額	1,191,843
前払　費用	1,960		
その他流動資産　計	1,960	当期正味財産増減額	249,807
流動資産合計	1,530,758	正 味 財 産 合 計	1,441,650
資 産 合 計	1,530,758	負債・正味財産合計	1,530,758

平成２９年度　財産目録

平成３０年３月３１日　　現在

特定非営利活動法人　犬山市民活動支援センターの会

（単位：円）

《資産の部》	
【流動資産】	
現　　金	323,489
普通　預金　［十六銀行］	503,859
定期　預金　［十六銀行］	701,450
未　収　金	0
前払　費用	1,960
資　産　合　計	**1,530,758**
《負債の部》	
【流動負債】	
預　り　金	89,108
流動負債　計	**89,108**
負　債　合　計	**89,108**
正　味　財　産	**1,441,650**

〔Ｘ〕　平成２９年度監査報告

監査報告書

平成２９年度特定非営利活動法人犬山市民活動支援センターの会の決算について、平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日までの事業内容について、厳正に監査を行った結果、その内容は的確に且つ正確に処理されていました。
又事業の運営についても良好であると認められたので報告します。

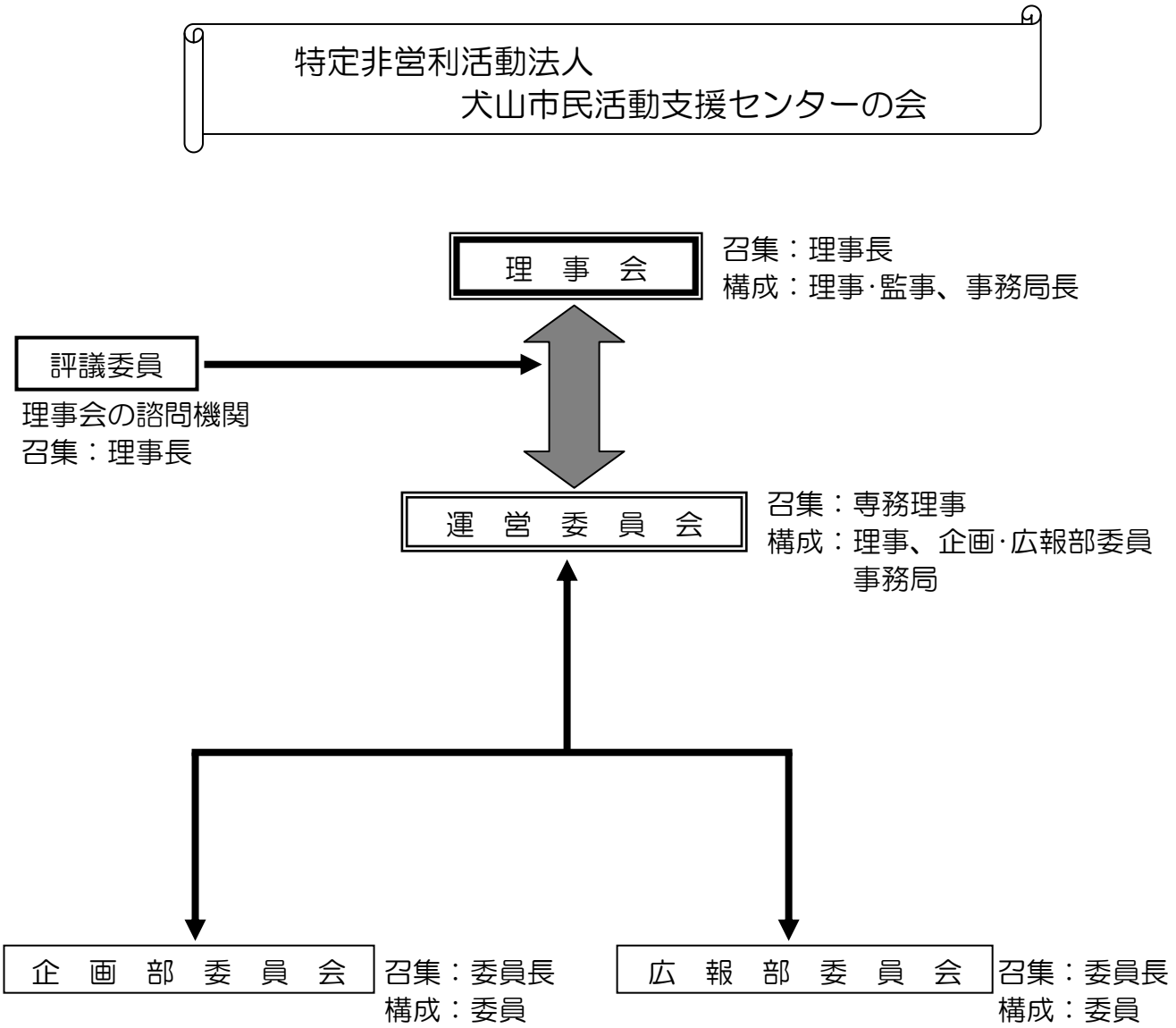
平成３０年　　月　　日

特定非営利活動法人
犬山市民活動支援センターの会
理事長　　川　島　紀　之　　殿

監事

監事

〔XI〕犬山しみんていの会 運営体制



運営委員会は、オープンにしています。
理事以外の会員も自由に参加できます。

積極的に参加いただき建設的なご意見をお待ちしています。